

東京言語研究所

2012年度第3回公開講座

東京言語研究所では、広い視野からことばを考えることを主な目的として、公開講座を開催することにいたしました。ことばとかかわりを持つさまざまな分野の第一線で活躍する方々を講師としてお迎えします。

今回は、下記の要領で2012年度第3回公開講座を開催いたします。奮ってご参加ください。

〈演題〉社会言語学と法則性 ——変異と変化と規則性——

〈講師〉井上 史雄 氏（明海大学教授）

〈日時〉2013年2月23日（土） 14:00～17:00

〈会場〉東京言語研究所（新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビル13階）

〈参加費〉一般 1,500 円 学生 1,000 円（当日学生証提示）

（*2012年度理論言語学講座受講生は500円）

〈申込み〉ホームページ申込みフォームもしくはFAXで下記をご連絡下さい。定数：60名

- ① 公開講座受講希望 ② 氏名 ③ フリガナ ④ 性別 ⑤ 住所 ⑥ 電話番号
- ⑦ Eメールアドレス ⑧ 区分（2012年度理論言語学講座受講生・一般
- ・ 学生） ⑨ 所属区分（大学生・大学院生・教員・会社員・その他）

（この情報は受講手続きにのみ使用いたします。）

〈講師紹介〉

明海大学外国語学部（日本語学科）教授。

昭和46（1971）年 東京大学大学院言語学博士課程修了。東京外国語大学助教授・教授を経て、平成17（2005）年より現職。

専門は、社会言語学・方言学。第一三回金田一京助博士記念賞を受賞。NHK放送用語委員。博士（文学）。

著書に『日本語ウォッチング』（岩波新書）、『計量的方言区画』（明治書院）、『日本語は生き残れるか—経済言語学の視点から』（PHP新書）がある。

問合せ先

東京言語研究所

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル16階

TEL:03-5324-3420

FAX:03-5324-3427

ホームページ：<http://www.tokyo-gengo.gr.jp/>

【講義要旨】

社会言語学の言語変異を扱う部門では、多様性に気をとられ、規則性追求をおろそかにする傾きがあった。しかし言語理論を深めるためには、言語現象の法則的な面に注目する必要がある。この講演では、現代日本語の多様な変異（音韻、アクセント、文法、語彙、敬語）を、日本語の長期的変化の一過程（眼前で進行中の変化）ととらえて、過去と未来の連続性を再考する。通時論と共時論を考え直すことにつなげたい。言語習得の年齢と関連付けて、言語変化の規則性を論じることができる。言語習得は一生続く。人生後期習得の現象は使い分け可能。規範、評価と結びつく。